

自閉症・情緒障害特別支援学級（〇〇学級）国語科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 感想を伝え合おう「ごんぎつね」 4年下（東書）

2 目標

- 物語に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）
- 場面の移り変わりに気をつけて読み、「ごん」の行動や気持ちの変化を叙述に即して読みとり、発表することができる。 （読む）
- 表現したり、理解したりするために必要な語句を増やすことができる。 （伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）
- 安心して活動に取り組むことができる。 （自立活動2（3））

3 指導について

(1) 児童の実態

本単元では、4年生3名による小集団で指導を展開する。A児は注意欠陥多動性障害の診断があり、注意集中する時間が短く学習への参加率が低い。視写や書字に時間がかかり語彙が少なく表現力に乏しい。B児は自閉スペクトラム症の診断があり、思いつくと出し抜けに話し始めてしまう。語句から気持ちを想像することが難しい。C児は自閉スペクトラム症の疑いがある。書字は雑で苦手意識が強い。不安が強くなると独語が目立ち、国語科の学習に嫌悪感を抱いている。

(2) 教材観

本単元は、一人ぼっちの小ぎつね「ごん」が自分と同じ一人ぼっちの「兵十」と心を通わせようとするが果たせなかった物語である。単元全体は6場面から構成され、1場面から5場面は「ごん」の視点で描かれており、「いたずらばかりしていたごん」が「兵十に償うごん」へと気持ちに変化していく。6の場面は、視点が「兵十」に変わり、「兵十」が「ごん」を撃ったことがきっかけになり、「兵十」の気持ちに変化していく。学習指導要領では、C読む（1）ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」及び、オ「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」としている。「ごん」の「兵十」に対する気持ちを、「ごん」の行動や心内語、情景描写などにも着目し、丁寧に読み取らせていくことが大切である。

(3) 指導観

対象児3名は、視覚情報や聴覚情報の選択的注意に苦手さがあるため、必要な情報を見たり聞いたりすることが困難である。本単元の導入では、興味関心をもち、学習への意欲付けや注意集中を図る目的で、絵本を用いて読み聞かせをする。主人公「ごん」の行動や叙述に即した語句の理解や「ごん」の気持ちを読み取る力を身に付けるため、3名の対象児の得意な分野を活かし、ユニバーサルデザインの3視点（ひきつける・見通す・つなげる）を活用し授業を構成する。A児は絵を描くことが好きなので、挿絵とセンテンスカードをマッチングさせたり、イメージマップを描いたりする活動で活躍できる場を設ける。話すことが好きなB児には十分に発表する機会を設ける。C児には安心して課題に取り組めるよう選択肢のカードや「ごんと兵十」の心の距離を心情曲線で表現する等視覚的な活動を重視する。

ユニバーサルデザインの視点では、学習参加を促しイメージを明確にするため、①挿絵の活用、②語句の置き換え、③デジタル教科書の活用、④動作化等でひきつける。課題解決するため、①ワークシートの活用、②選択肢を設ける、③挿絵や文章の順番を変える等で解決を見通す。意見を広げるため、①ペアで話し合う、②図解する、③発表し合う等でつなげる。以上の方法により選択的注意の弱さを補い、どの子も笑顔で授業に参加し、単元の目的が達成できるよう個に応じた指導の展開を図る。

(4) 児童の実態と個別目標

児童	単元における実態	単元における目標
A児	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力が持続せず、気が散りやすい。 ・音読はたどたどしく表現力に乏しい。 ・書字はゆっくりで時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで学習に取り組むことができる。 ・場面毎に文章を正しく音読することができる。 ・「ごん」の行動や気持ちを叙述に即して読み取り、ヒント付ワークシートに記入し発表することができる。
B児	<ul style="list-style-type: none"> ・話が好きでルールを守らず勝手に始めることが多い。 ・音読は流暢に読むことができる。 ・発表はよくするが文脈から外れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守り落ち着いて学習に参加することができる。 ・場面毎に感情を込めて音読することができる。 ・「ごん」の行動や気持ちを叙述に即して読み取り、ワークシートに自力で記入し発表することができる。

C児	<ul style="list-style-type: none"> 理解できないことがあると心理的に不安定になり思考が停止してしまう。 音読はたどたどしく長文になると目で文章を追えなくなる。 書字は速いが乱雑である。 	<ul style="list-style-type: none"> 不安を軽減し安心して課題に取り組むことができる。 場面毎に文章を目で追い正しく音読ができる。 「ごん」の行動や気持ちを叙述に即して読み取り、ワークシートに丁寧に記入し発表することができる。
----	--	--

4 指導計画（12時間扱い） 本時は○

第1次 絵本の読み聞かせをし、挿し絵を並べかえる活動やイメージマップを作成し、初発の感想をまとめる。

・・・4時間

次	時	主な学習内容・活動	評価の観点			評価規準 ○は自立活動		
			関	読	言	A児	B児	C児
2	⑤	・1の場面を読み「ごん」のいたずらと気持ちについて読み取る。		◎		◎語句の間違い探しをし、さみしい「ごん」の気持ちを読み取っている。(発表・ワークシート) ○友達の発表を聞いている。	◎兵十と仲良くなりたいがさみしい「ごん」の気持ちを読み取っている。(発表)	◎さみしい「ごん」の気持ちを読み取っている。(発表・ワークシート)
	6	・2の場面を読み、いたずらしたことを後悔する「ごん」の気持ちの変化を読み取る。		◎		◎色が使われている言葉を抜き出している。(選択・発表)	◎色彩語に着目し「ごん」が後悔している気持ちを読み取っている。(抜き出し・発表・ワークシート) ○発表のルールを守り落ち着いて学習に参加している。(B児)	
	7	・3の場面を読み、償いを繰り返す「ごん」の行動に着目し、兵十への気持ちの深まりを読み取る。		◎		◎いつ・何を・どのようにしたかを表にまとめ、「ごん」の気持ちを考えている。(発表・並べ替え・ワークシート) ○ペア学習に参加している。(A児) ○話を最後まで聞いている。(B児) ○ペアで意見を交換している。(C児)		
	8	・4と5の場面を読み兵十と加助の後を追う「ごん」の気持ちの変化を読み取る。		◎		◎役割読みをして人物の距離や位置を想像している。(動作化・発表)	◎役割読みをし、心内語の意味を理解し「ごん」の気持ちを読み取っている。(音読・動作化・発表) ○自信をもって発表している。(C児)	
	9	・6の場面を読み、あくる日も出かけて行った「ごん」の気持ちの深まりを読み取る。		◎		◎兵十が見た物の絵を並べ替え、「ごん」の気持ちの高まりを想像して読み取っている。(挿絵と短冊の並べ替え・発表・心情曲線・ワークシート) ○集中して最後まで学習に参加している。(A児) ○友達の発表を認めている。(B児) ○落ち着いて発表している。(C児)		
	10	・「ごん」の心情の変化を読み取る。		◎		・「はじめ・きっかけ・おわり」をまとめて、「ごん」の気持ちの変化をまとめている。(発表・ワークシート) ○落ち着いて学習に参加している。(A児・B児・C児)		

第3次 書いた手紙を交流し、感想を伝え合うことができる。

・・・2時間

5 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

1の場面を読み、「ごん」の境遇や性格を読み取り、いたずらをする「ごん」の気持ちを考え、発表することができる。

イ 個別目標



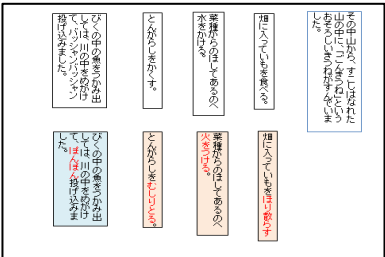

A児	<ul style="list-style-type: none"> 「ごん」のしたいたずらを、言葉の置き換えや挿絵の並べかえを通して考え、発表することができる。 集中して最後まで学習に取り組むことができる。
----	--

B児	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の置き換えや挿絵の並べかえを通して、「ごん」のしたいはずらやさみしい心情を読み取り発表することができる。 友達の意見をよく聞き、ルールを守って発表することができる。
C児	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の置き換えや挿絵の並べかえを通して、「ごん」のしたいはずらやさみしい心情を読み取ることができる。 安心して発表したり活動に参加したりすることができる。

(1) 準備・資料

教材文 (ルビ付き)、大型テレビ、PC、ワークシート、挿絵、センテンスカード、イメージマップ、ごんの絵

(2) 展開

配時	学習内容及び活動	ユニバーサルデザインの視点からの支援及び留意点・評価 (□ひきつける ○見通す ◇つなげる)	
		全 体	個別 (A児・B児・C児)
10	<p>1 第1場面を音読する。</p> <p>(1) イメージマップで確認する。</p>  <p>(2) 第一場面の挿絵を並べ替える。</p> <p>(3) 音読する順番を確認する。</p>	<p>□1の場面の挿絵を並べ替える活動を通して、大まかなあらすじを確認できるようにする。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 音読範囲が長いので前半後半に分けて音読し集中力が持続できるようにする。(A児) 音読が苦手なので一緒に音読することや順番の希望を聞き不安を減らすようにする。(C児)
15	<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p>ごんはどんなきつねでしょう。行動から気持ちを考えましょう。</p> <p>3 センテンスカードの間違い探しをする。</p>  <p>(1) ペアで間違いを探す。</p> <p>(2) 全体で確認する。</p>	<p>□ごんは「おそろしいきつね」と提示し思考をゆさぶる。</p> <p>○間違い探し (語句の置き換え) をする活動をする事でごんのいたずらな行動が読み取れるようにする。</p> <p>□○一般的ないたずらはピンクの短冊で、兵十へのいたずらは水色で示し、正答は赤文字で示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初に発言を取り上げ学習のルールが持続するよう確認する。(B児) 間違いに気がつかない時はペアで話し合うことで間違いに気付き発表できるようにする。(C児) 視覚的な提示に反応するので、センテンスカードや文字の色を変え、色の示す意味から考えられるようにする。(A児・B児・C児) ペアで話し合うことで不安を軽減し安心して取り組めるようにする。(C児)
10	<p>4 「ごん」の気持ちを整理し、兵十に対する気持ちを読み取る。</p> <p>(1) 「ごん」がズームアップしながら兵十の様子を見ていることを挿絵とセンテンスカードをマッチングし確認する。</p> 	<p>□デジタル教科書で示し P12L3～L14 まで音読する。</p> <p>○センテンスカードを並べ替えることで、兵十の動きが確認できるようにする。</p> <p>○□人・魚をとる・顔のアップの3枚の絵をセンテンスカードと合わせることで、「ごん」がだんだんと兵十に近付いていることに気付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 後半意欲が低下することが考えられるので、センテンスカードの並べ替えやセンテンスカードと絵をマッチングする活動をする。(A児・B児・C児) センテンスと絵のマッチング、動作化することで「ごん」の気持ちが考えられるようにする。(B児) センテンスに番号を付け、選べるようにする。(A児・C児)

	<p>(1) 動作化する。</p> <p>(2) いたづらをするごんの気持ちをペアで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっち ・たいくつ ・さみしい ・兵十となかよしになりたい 	<p>◇兵十を見ている「ごん」の様子(そっと、歩きよって、じつとぞいて)を動作化することで状況が理解できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごん」はどんなきつねか、行動から気持ちを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の動作化でよい点を発表し合う。(B児) ・黒板にまとめた行動を確認してから気持ちを考える。(A児・C児) ・友達の意見をモデルにして「ごん」の気持ちを考える。(B児)
7	<p>5 ワークシートに「ごん」の気持ちを書き、発表する。</p> <p>(1) ワークシートに書く。</p> <p>(2) 発表する。</p>	<p>◇「ごんは～なこぎつね。なぜなら～(行動)しているのは～(気持ち)だから」と書く焦点を明確にする。</p> <p>◇全員に発表させ、友達の考えを知る。</p> <p>(評) ワークシートに、さみしい「ごん」の気持ちを読み取っていることをまとめている。(A児・B児・C児)</p> <p>(評) 友達の発表を聞いている。(A児・B児・C児)</p> <p>◇「ごん」は「おそろしいきつね」と提示した最初と比較し気持ちをつなげてまとめとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートは、穴埋めにして、書き込めるようにし、書字の軽減を図ると同時に考えるヒントとなるようにする。(A児・B児・C児) ・ワークシートに書いている活動を称賛し、自己肯定感を高める。(A児・B児・C児) ・友達の意見を聞いて書き加えてもよいことを伝える。(A児・C児) ・発音や声の大きさに気をつけてワークシートを音読するよう言葉かけをする。(A児・B児・C児)
3	<p>6 本時の学習を振り返り、次時について知る。</p>	<p>○2の場面の挿し絵と掲示資料を示し、次時の学習内容が確認できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張って学習したことを称賛する。(A児・B児・C児)